



科研製薬株式会社

2019年3月期 第2四半期決算

IR ミーティング

2018年11月9日

- **本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。**
- **新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。**
- **「開発テーマの状況」は、現時点の開発計画に基づいて作成しております。開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。**

2019年3月期 第2四半期損益実績(連結)

(百万円未満切捨)	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	増減	前期比 (%)	19年3月期 第2四半期 計画*
売上高	49,860	47,521	▲ 2,338	95.3	47,800
売上原価	20,899	19,977	▲ 922	95.6	-
販売費及び一般管理費	13,625	15,187	1,562	111.5	-
研究開発費	3,644	5,708	2,063	156.6	-
営業利益	15,335	12,356	▲ 2,978	80.6	11,700
経常利益	15,517	12,536	▲ 2,980	80.8	11,900
税引前当期利益	15,481	12,491	▲ 2,989	80.7	-
当期純利益	10,868	8,840	▲ 2,028	81.3	8,300

(※ 2019年3月期の期初計画:2018年5月9日公表)

○4.7%の減収

- ・薬価改定の影響
- ・ジェネリック医薬品や競合品の影響
- ・農業薬品の減少

○中間配当は75円

売上内訳(連結)

(百万円未満切捨)	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	増減	前期比 (%)
医療用医薬品・医療機器	43,180	39,582	▲ 3,598	91.7
農業薬品	1,867	1,415	▲ 451	75.8
不動産賃貸料	1,201	1,166	▲ 34	97.1
その他	3,611	5,356	1,745	148.3
合計	49,860	47,521	▲ 2,338	95.3

主な医薬品・医療機器の売上実績内訳

(百万円未満切捨)	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	前期比 (%)
アルツ	14,820	12,422	83.8
クレナフィン	11,849	12,084	102.0
セプラフィルム	5,231	5,007	95.7
フィブラストスプレー	1,809	1,559	86.2
リピディル	2,239	1,422	63.5
ジェネリック医薬品	5,953	5,234	87.9

アルツ：薬価改定の影響により減収
クレナフィン：新規患者への使用が進み伸長
セプラフィルム：競合品の影響により減収

連結貸借対照表／連結キャッシュ・フロー計算書



科研製薬株式会社

連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

	2018年 3月末	2018年 9月末	増減
流動資産	103,859	102,099	▲1,760
固定資産	48,557	50,335	1,777
資産合計	152,417	152,434	17
流動負債	31,401	28,128	▲3,273
固定負債	7,141	7,126	▲14
負債合計	38,543	35,254	▲3,288
純資産合計	113,874	117,180	3,305

【主な変動科目】

◆ 資産

現金及び現金同等物: 51,976百万円
(▲718百万円)

◆ 負債

有利子負債: 3,875百万円

◆ 純資産

利益剰余金: 103,101百万円 (+5,816百万円)
自己株式: ▲26,778百万円 (▲3,519百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

	2017年 4-9月	2018年 4-9月	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	11,086	7,040	▲4,046
投資活動による キャッシュ・フロー	▲822	▲1,217	▲395
財務活動による キャッシュ・フロー	▲6,500	▲6,541	▲40
現金および現金同 等物の期末残高	47,530	51,976	4,445

【主な変動要因】

◆ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益: 12,491百万円

◆ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得: 613百万円

◆ 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式取得額: 3,519百万円
配当金支払額: 3,021百万円

2019年3月期上期の進捗状況

～トピックス～

- ・腰椎椎間板ヘルニア治療剤「ヘルニコア」を新発売

～クレナフィンの海外展開～

台湾：導出先の台田薬品(田辺三菱製薬子会社)が承認取得

中国：臨床試験の申請が当局により受理。並行して導出候補先と契約交渉中

香港・マカオ：香港のメインライフ社に導出

開発テーマの状況

開発コード	予定適応症	開発段階	備考
BBI-4000	原発性局所多汗症	PⅢ	ブリッケル・バイオテック社より導入 外用抗コリン剤
KMW-1	熱傷焼痂除去	PⅢ	メディウンド社より導入 外用酵素製剤 海外での製品名 : NexoBrid
KP-607	爪真菌症	PⅠ	自社創薬 ポスト クレナフィン

KP-470 : 導出先のボシュヘルス社が探索的治験を準備中

※ KAG-308 : AGC株式会社との共同開発契約を終了

2019年3月期損益計画(連結)

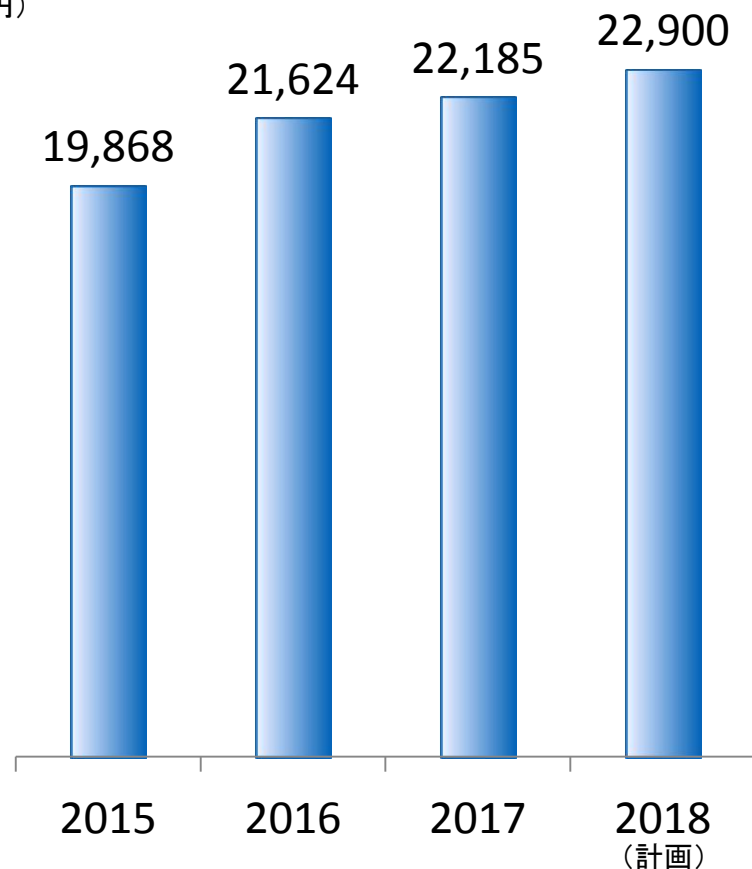
(百万円未満切捨)	2018年 3月期	2019年 3月期 計画	増減	前期比 (%)
売上高	98,430	94,800	▲ 3,630	96.3
営業利益	27,496	22,500	▲ 4,996	81.8
経常利益	27,854	22,800	▲ 5,054	81.9
税引前当期利益	27,686	22,700	▲ 4,986	82.0
当期純利益	19,043	16,400	▲ 2,643	86.1
販売費及び一般管理費	28,530	31,400	2,870	110.1
うち、研究開発費	8,152	11,700	3,548	143.5

主な医薬品・医療機器の売上計画内訳

(百万円未満切捨)	2018年 3月期	2019年 3月期 計画	前期比 (%)
アルツ	28,351	24,800	87.5
クレナフィン	22,185	22,900	103.2
セプラフィルム	10,162	10,200	100.4
フィブラストスプレー	3,616	3,100	85.7
リピディル	4,208	2,900	68.9
ジェネリック医薬品	11,793	11,200	95.0

爪白癬治療剤 クレナフィン

売上高
(百万円)



2018年度計画:前期比 103.2%

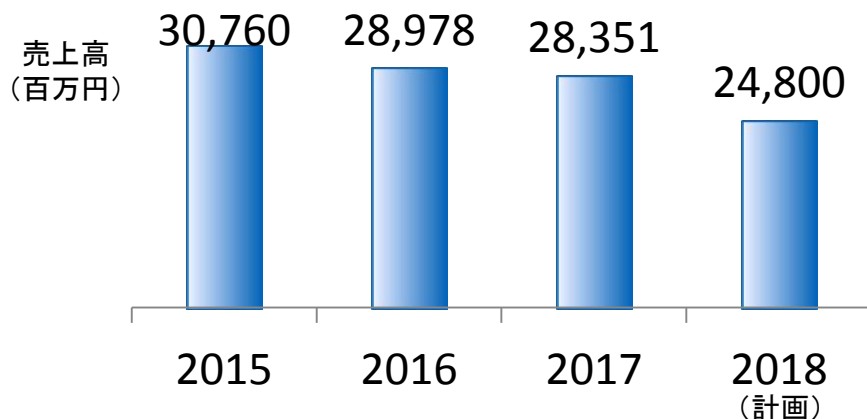
潜在的な患者さんへの処方により市場の拡大を目指す。

- 皮膚科Drへの情報提供活動を強化
(Webセミナー等の実施、製品サイトの充実)
- 患者さんへの疾患啓発活動
(医療機関でのポスター掲示、新聞広告等を検討)
- 他診療科のDrに対する疾患啓発活動
(皮膚科との診療連携を推奨)

国内医療用医薬品・医療機器

関節機能改善剤

アルツ

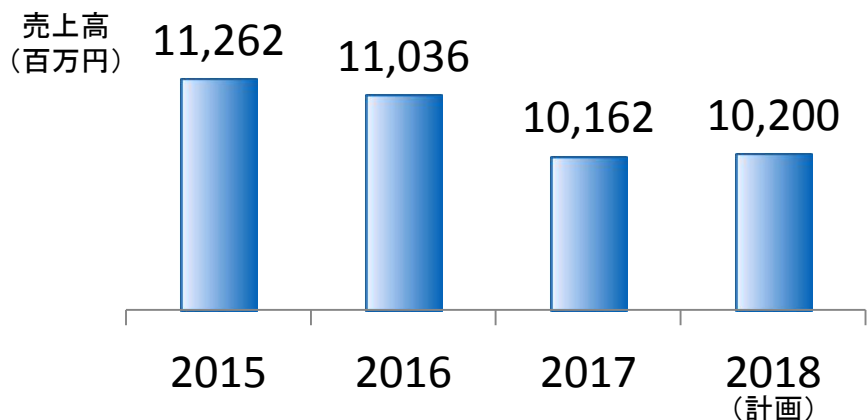


2018年度計画: 前期比 87.5%

薬価改定の影響はあるが、医療現場のニーズに応えた製剤改良や疾患啓発活動により、シェア拡大を図る

癒着防止吸収性バリア

セプラフィルム



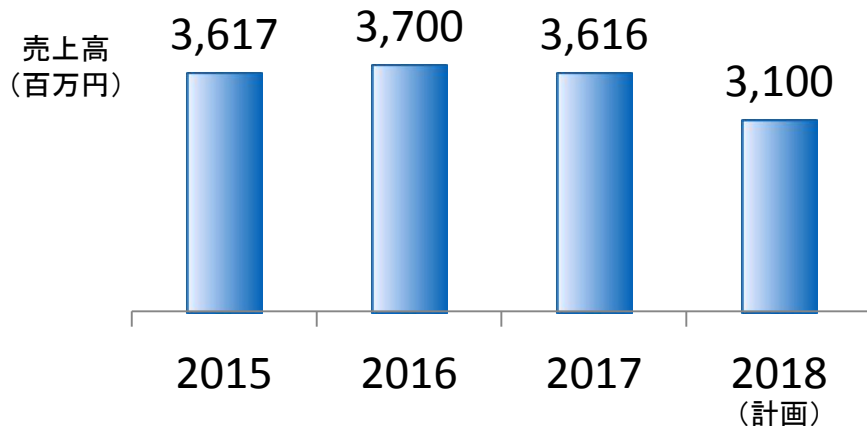
2018年度計画: 前期比 100.4%

動画によるプロモーションの充実により、様々な症例に対する使用意義や使用方法の周知徹底を図る

国内医療用医薬品・医療機器

褥瘡・皮膚潰瘍治療剤

フィブラストスプレー

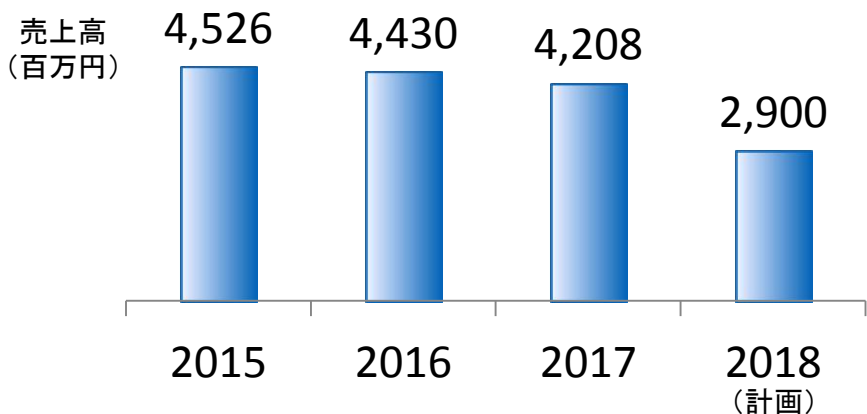


2018年度計画: 前期比 85.7%

薬価改定の影響はあるが、創傷・褥瘡・熱傷ガイドラインの訴求等により更なる拡大を目指す

高脂血症治療剤

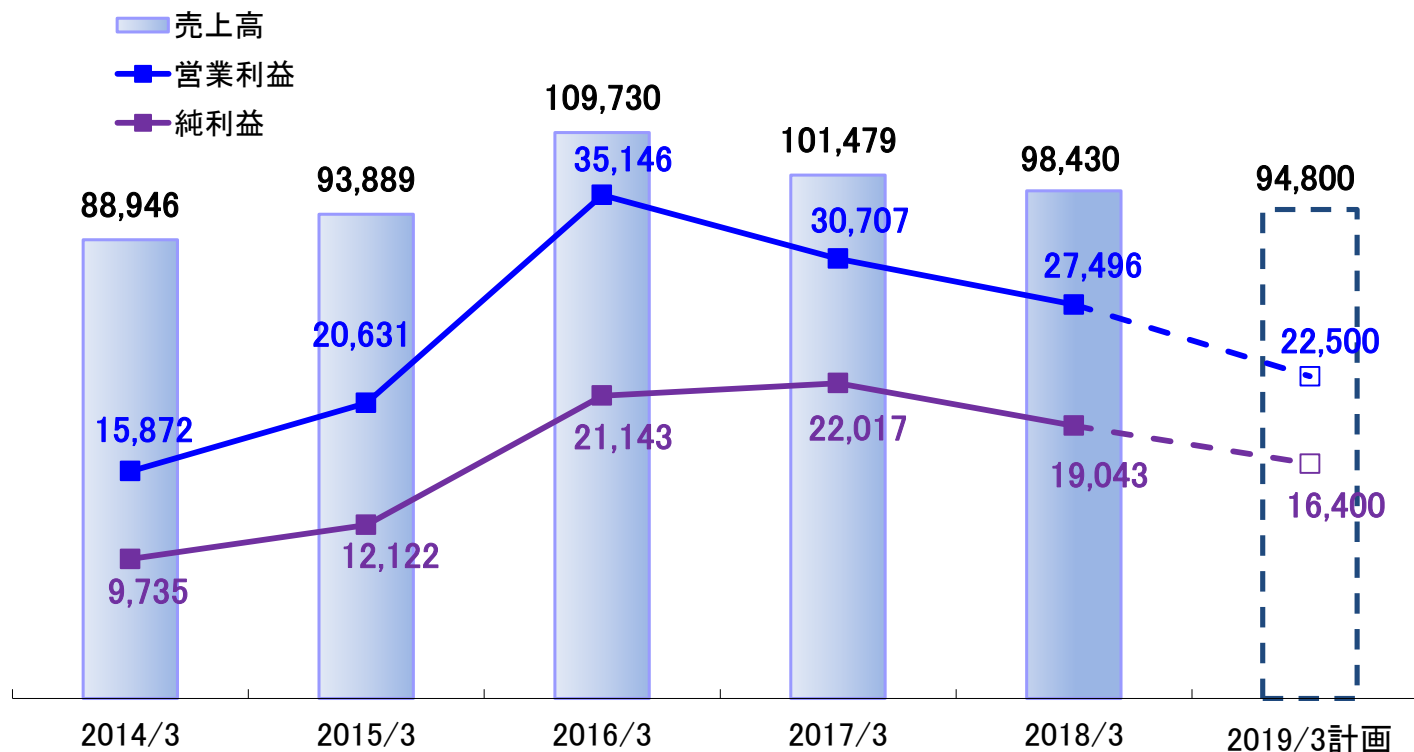
リピディル



2018年度計画: 前期比 68.9%

ジェネリック医薬品の影響、薬価改定の影響はあるが、関連ガイドラインの活用等により、有用性の理解を更に進める

業績推移(連結)



	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
年間配当	96円	118円	146円	150円	150円	150円(予定)
自己資本利益率 (ROE)	14.5%	16.7%	25.3%	22.9%	17.6%	—

※2015年10月1日付で株式併合(2株を1株に併合)を実施しております。
 年間配当は、株式併合後の基準で換算した金額を記載しております。